

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良市			代表者名	仲川 元庸
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部 DX推進課	連絡先電話番号	0742-34-4722
担当者役職	主務	担当者氏名	河口 ゆり子	連絡先E-mail	
住所	630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	BPR(業務改革)の取り組み		
概要	一般職員が政策形成に関しチャレンジと継続しやすい環境を構築するため、また、それにより市民サービスの充実を図るため、管理職へデジタルマインドの醸成を行い、業務プロセスの見直しや新たな手法の取り入れなど、抜本的な業務改革につなげたい。そのための、管理職に向けた講演会を実施していただきたい。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	145	令和6年9月25日	事前打合せ&支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月4日	支援・助言(オンライン)	11時00分	12時00分	
			活動時間(分)	60	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">・当方が講演会に向けてスムーズに準備ができるよう、講話で使用される資料の提供やツールの設定を速やかに行ってください。また、講話の際のより良い会場設置の方法や、アンケート内容について提案があった。・DX人材育成研修の依頼先についてのアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	職員のDXに対する意識は年々高くなってきているが、デジタル化と自発的・継続的にBPRに取り組む重要性への意識に管理職を含め、職員間で意識のバラつきが見られる。デジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービス向上が図られることを自分事として認識し、それらの活用方法や取り入れ方、またデジタル技術以外の業務改革についても実行に移すことができる意識改革が大きな課題となっている。				
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	職員がデジタルへの苦手意識を克服し、自発的・継続的に業務改革に取り組む重要性を理解し、意識格差が軽減されることにより、行政手続オンライン化等の取組を進め、市民生活の利便性向上につなげる。また、デジタル技術の活用はあくまでも手段であることを理解し、業務プロセスの見直しや新たな手法の取入れなど、抜本的な業務改革につなげる。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	講演会に向けて、講演日時・講演回数・会場・講演内容・実施形態・参加者についての最終確認を行う。 ツール (slido) を使用してオンライン上でディスカッションを行うため、会場の机の配置はコの字型で講師が歩き回れるように一定の距離をあけるようアドバイスをいただいた。 また、講演会のアンケートについて、受講者の率直な意見を伺うためには、氏名の明記をしない方がよい場合もあるとのアドバイスもいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	当方が希望した窓口改革や行政手続オンライン化の内容が講演資料に追加され、詳細な講演内容が確定した。また、講話を飽きさせないように、オンライン上でディスカッションに参加できるツールを使用し、双方向のコミュニケーションが可能な講演会を実施することになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 実施形態と手法の決定 ※具体的な成果については、講演会実施後に報告
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	・講演日当日にslidoを使用し参加者へ投げかける質問事項	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は講演会の事前打ち合わせのため、アンケートの実施はなし。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員が自発的・継続的に業務改革に取り組むことで、行政手続オンライン化、窓口改革等の取組が進み、職員の業務効率化と市民生活の利便性向上につなげる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

